

福井県衛生環境研究センター活動報告 概要

発表演題名	福井市における 2019 年秋季の PM _{2.5} 成分の周辺環境による特徴について
学会名	第 47 回 環境保全・公害防止研究発表会
発表者名	岡 恭子 (環境部)
開催場所	紙上開催
開催日時	令和 2 年 1 1 月 1 9 日 (木) (メール送付日)
発表内容	<p>2019 年秋季に市街地である福井局と郊外 (周辺農地) であるセンターにて PM_{2.5} 成分分析を実施した。</p> <p>64 日間の調査期間中、福井局の方がセンターよりも PM_{2.5} 質量濃度が高い傾向にあり、期間平均濃度は、福井局が 8.0 μg/m³、センターが 6.9 μg/m³、相関係数は 0.85 で、およそ 7 割の日で福井局の方がセンターよりも高かった。</p> <p>質量濃度だけでなく、ほとんどの成分が、福井局の方がセンターよりも高濃度であった。土壌成分の指標である Al や Fe 濃度も福井局の方が高い傾向にあった。</p> <p>また、2 地点は 4km 程度しか離れていないにもかかわらず、福井地方気象台で黄砂が観測された日の各成分濃度の差が大きく、越境大気汚染の影響に差があったと考えられた。</p>